

# シン・酪農百科

## Vol.9 酪農の最新技術編

酪農のお仕事をサポートする機械や技術は、どんどん進化中！人間の作業負担を減らしたり、数値やデータを活用して牛の健康を管理したり。未来の酪農は、もっと面白くなるかも!?



● **ロボットアーム**  
人の動きのように滑らかで自然な搾乳を行う。

1日2回の搾乳作業をカット

3回の搾乳も可能に

### 1頭1頭手搾りの時代から、全自動へ搾乳ロボット

搾乳のタイミングになると牛が自分で入りし、機械が自動で搾乳を行う。搾った生乳をセンサーで測定し、乳量や健康状態などもデータとして収集。

### 上げ膳、据え膳の極み

#### 自動給餌器

設定した時間に、自動で運搬、給与まで。それぞれの牛群(※)や個体の状態に合わせて与える量を調整できる。

※人工的に作られた牛の群のこと。

1日複数回の給餌作業をカット

乳量アップや健康維持につながる



● **吊り下げ方式**  
天井に設置されたレールを移動。

### いくら散らかしても、許せるかも? 餌寄せロボット

散らばった餌を、牛の口が届く範囲に寄せる機械。牛舎内を自動で移動し、作業後は自分で充電器まで戻る。

1日複数回の餌寄せ作業をカット

食べる量が増え食べ残しも減る

● **超音波センサー**  
餌槽の距離を把握。

見られてると思うと、ちょっと安心

#### 分娩監視システム

監視カメラや体温センサーを使って、分娩予定の牛をチェック。牛舎から離れた場所でもスマートフォンやパソコン、タブレットで牛舎内の様子を観察でき、出産の予兆を見逃さずに駆けつけることができる。



● **体温センサー**